



OBCを知るための基礎資料



2017年9月30日

株式会社オービックビジネスコンサルタント

東証1部（4733）

www.obc.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

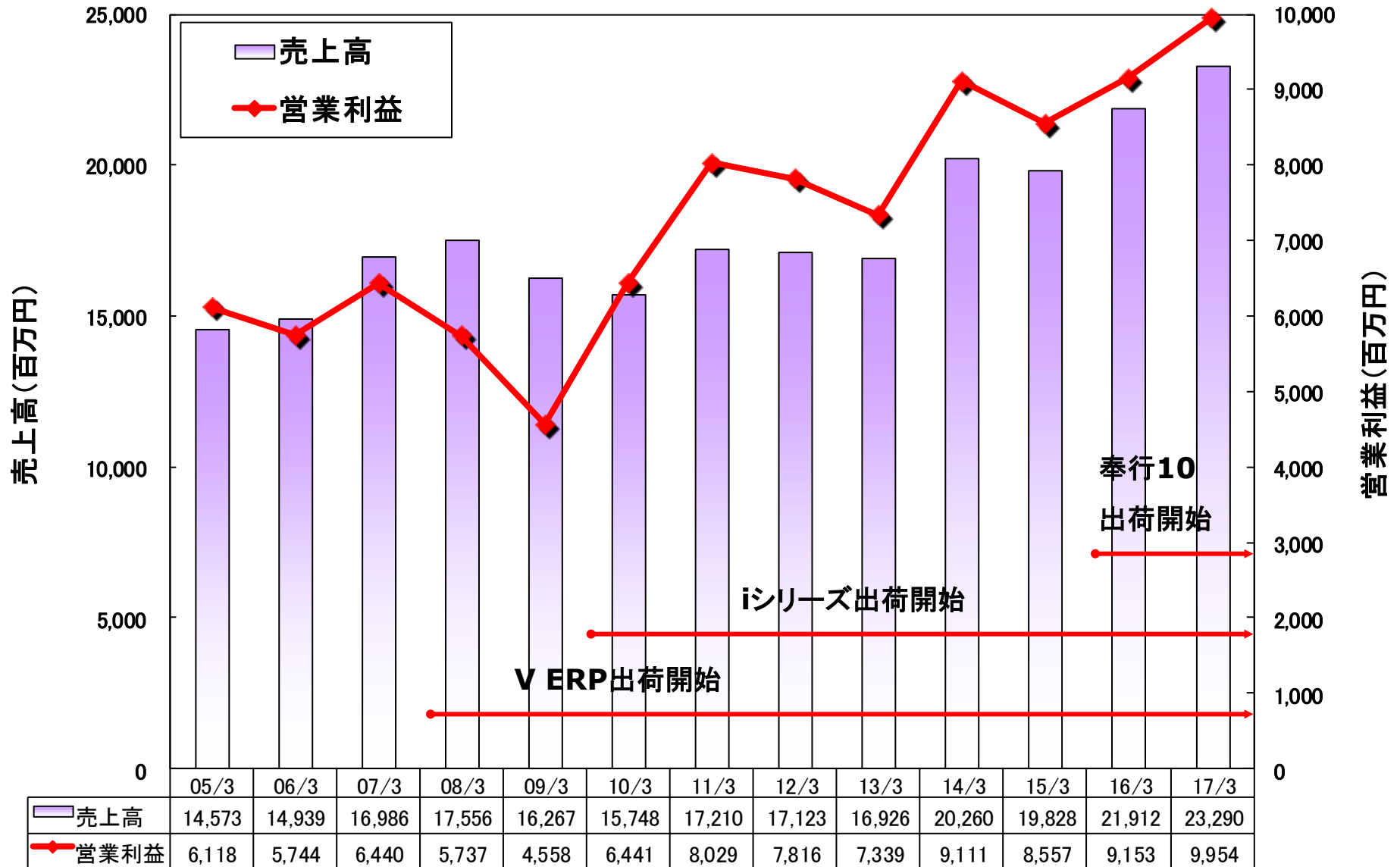
会社の概要

- ◆ 設立 : 1980年12月
- ◆ 総資産 : 1,179億3,061万円(17年3月期末)
- ◆ 株主資本 : 1,000億4,214万円(17年3月期末)
- ◆ 事業内容 : ●ソリューション
●関連製品
●サービス
- ◆ 代表者 : 代表取締役社長 和田 成史
- ◆ 業績(非連結): 17年3月期
 - 売上高 : 232億9,046万円
 - 経常利益 : 109億9,533万円
 - 当期利益 : 76億6,989万円

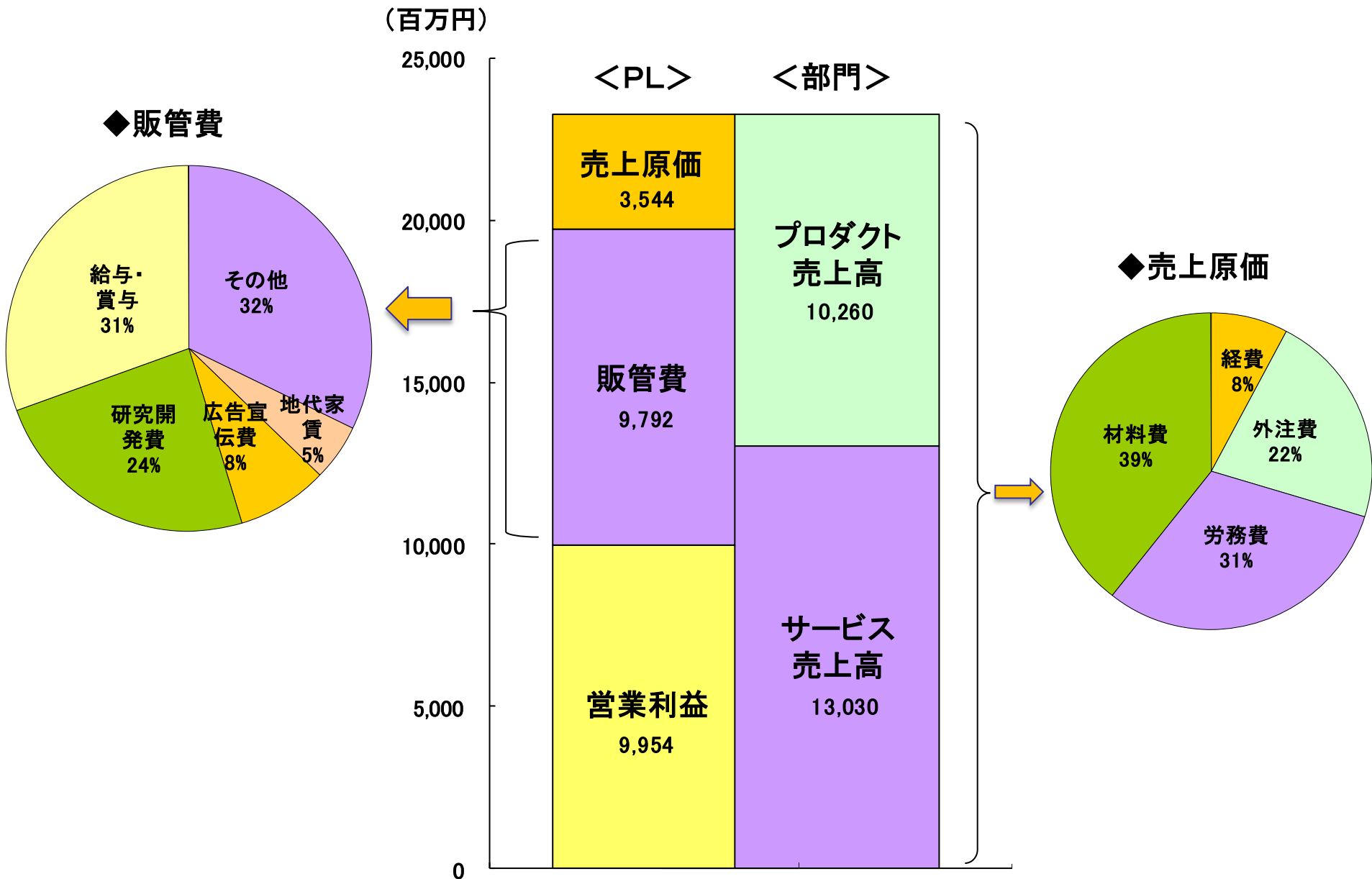
OBCのコアコンピタンス

- ① 企業の基幹業務(会計・給与・人事)のパッケージにフォーカスする
- ② 中堅及び中規模・小規模企業にフォーカスする
- ③ Microsoftテクノロジーにフォーカスする
- ④ パートナー戦略にフォーカスする
- ⑤ ブランド戦略にフォーカスする

業績推移



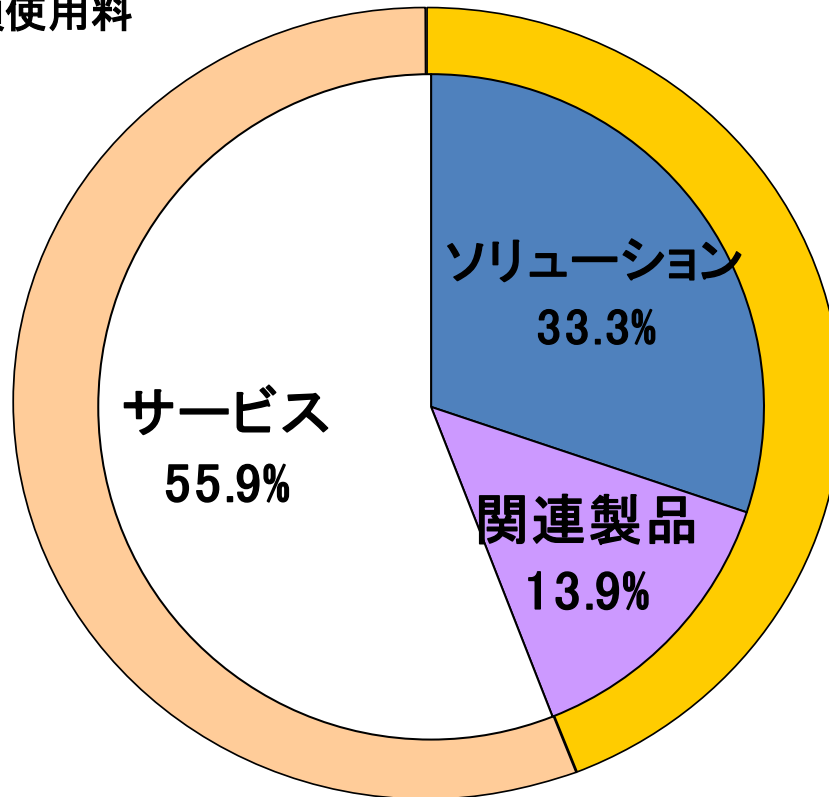
OBCのPL構造(17年3月期)



売上構成比(17年3月期)

■サービス

- ・保守契約料(OMSS/OMSS+業務サービス)
- ・スクール売上(ユースウェア)
- ・指導料売上(ユースウェア)
- ・都銀向けEBの月額使用料



■プロダクト

(①ソリューション+②関連製品)

①ソリューション

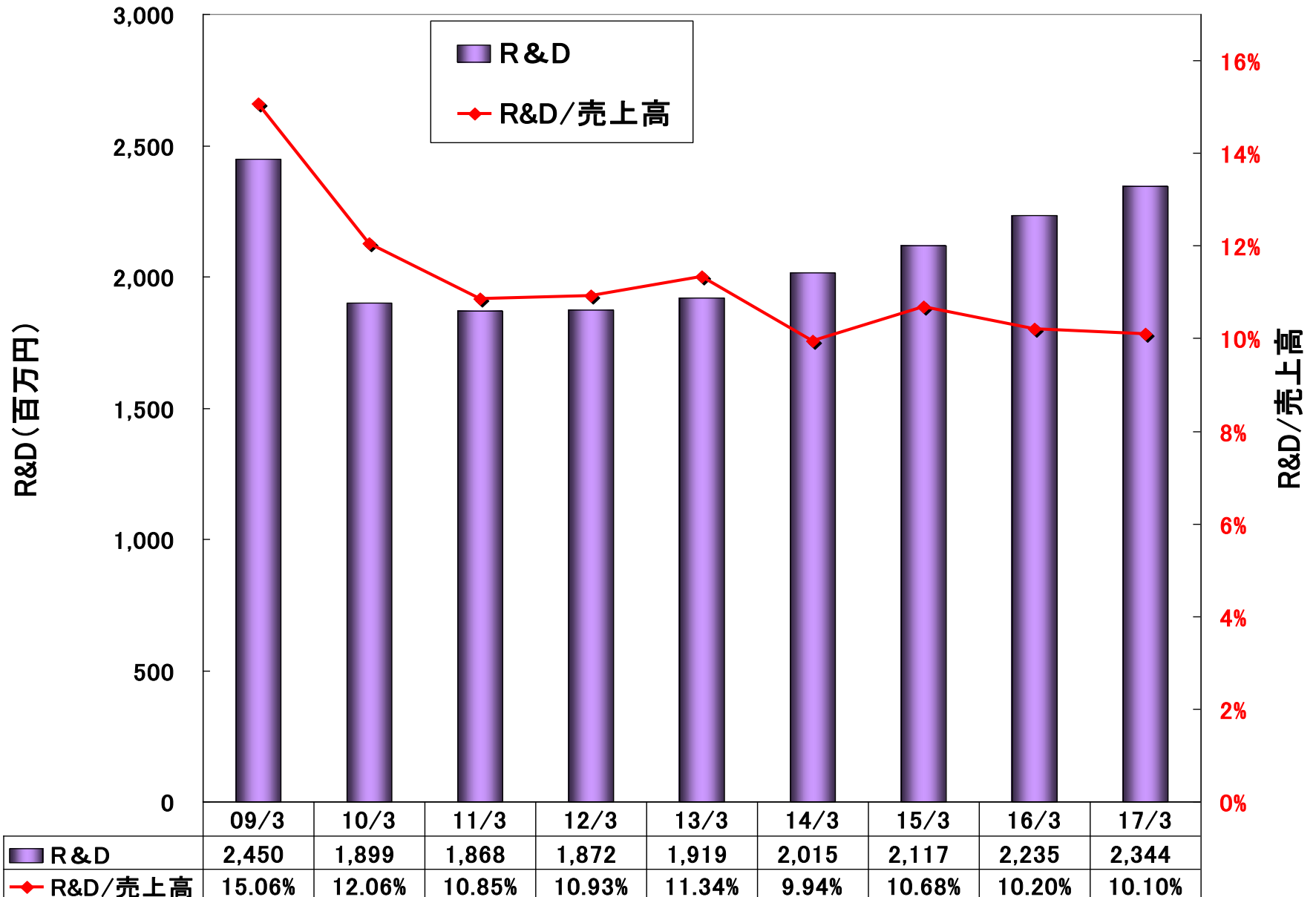
・奉行V ERP ・新ERP、
NetworkEdition、
スタンドアロン、Jシステム
などのパッケージソフト

- ・地銀向けEB
(OFFICEBANK)
- ・オプション製品

②関連製品

- ・サプライ品(専門帳票類)
- ・奉行連動ソリューション
(他社製品)
- ・都銀向けEBの受託開発

研究開発に注力

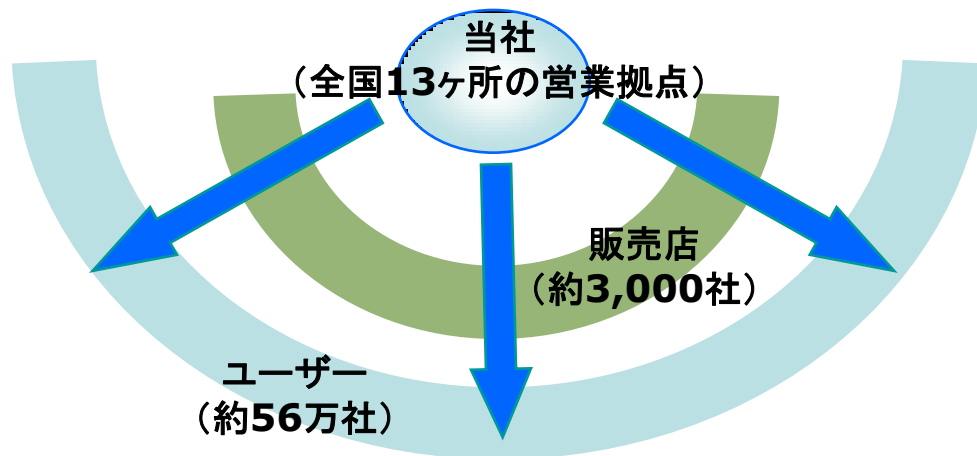


営業・マーケティング体制

知識集約型

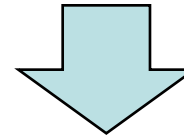
- ◆ 全員が日商簿記2級及びマイクロソフト認定技術者の有資格者
 - ⇒ 営業員でなくシステムコンサルタント
 - 当社営業部員(システムコンサルタント) + 販売パートナーでの顧客提案
 - 当社 + 販売パートナーによる独自イベント

地域密着型



マーケティング

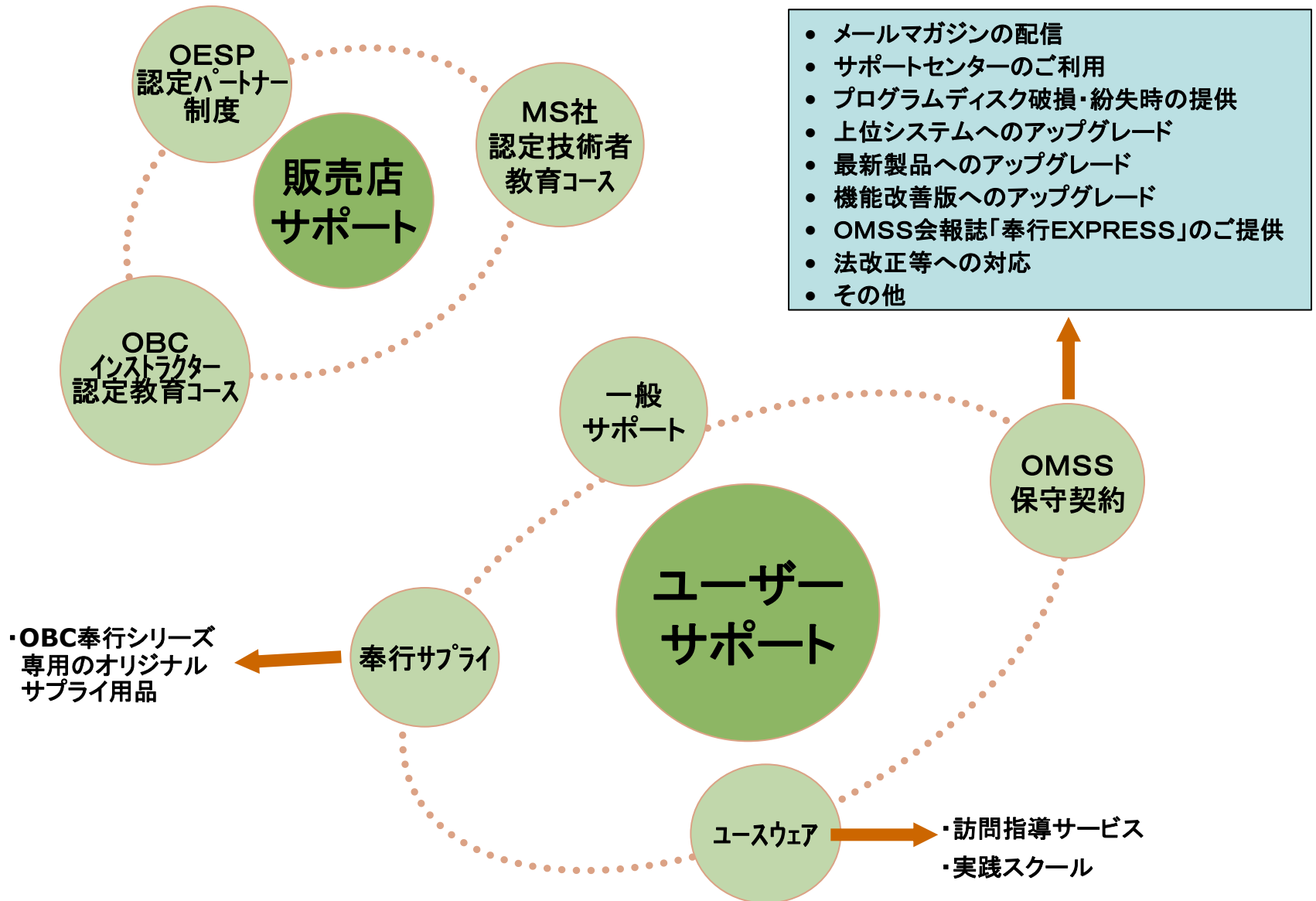
1. TVCMなど
2. セミナー方式
会計士、ITコーディネーター、金融機関とのタイアップなど
3. 展示会方式
4. 無料体験スクール方式



◆ 展示会の開催例

- ・販売パートナー向け戦略発表会
「OBC Partner Conferene」
- ・お客様向けイベント・セミナー
「奉行フォーラム」

サービス・サポート体制



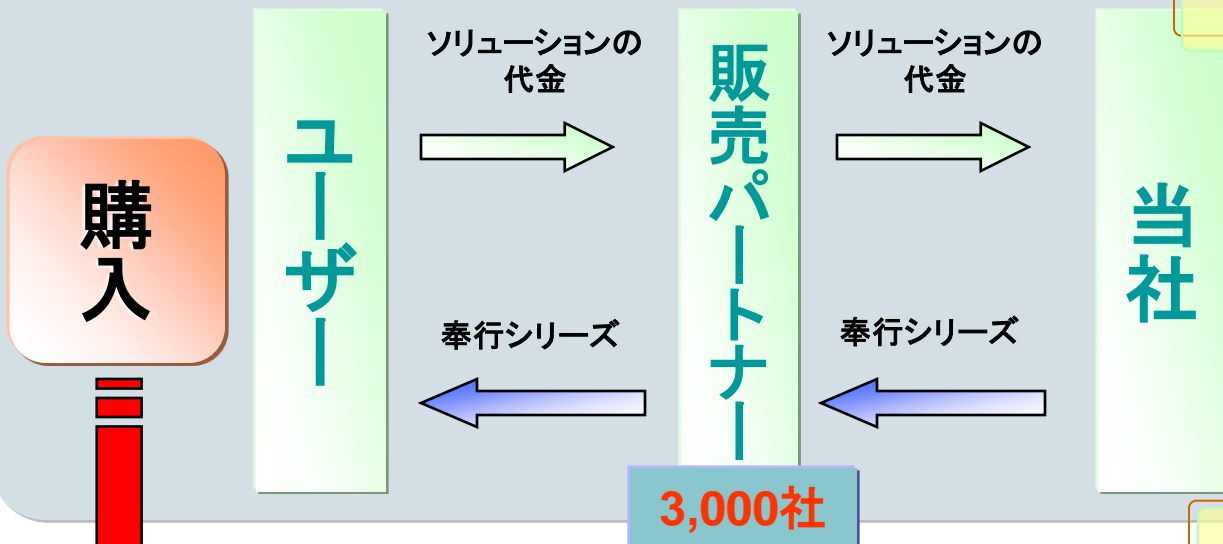
OBCのビジネスモデル

	OBC	SIer
対象製品・システム	<ul style="list-style-type: none">● 基本業務システム(奉行12製品)● パッケージソフト中心	<ul style="list-style-type: none">● 個別ユーザー・● 案件別システム● ソフト+ハード
販売方法	<ul style="list-style-type: none">● 販売パートナー経由 (リコー、キヤノン、ゼロックス等、富士通、 NEC、IBM等のメーカー系地域独立系販社)	<ul style="list-style-type: none">● 直販
開発方法	<ul style="list-style-type: none">● パッケージ: 自社開発	<ul style="list-style-type: none">● 自社開発(一部外注)
地域ターゲット	<ul style="list-style-type: none">● 全国展開(販売パートナーを活用)	<ul style="list-style-type: none">● 都市部中心
顧客ターゲット	<ul style="list-style-type: none">● 中堅・中小企業	<ul style="list-style-type: none">● 大企業、中堅企業

OBCのビジネスモデル



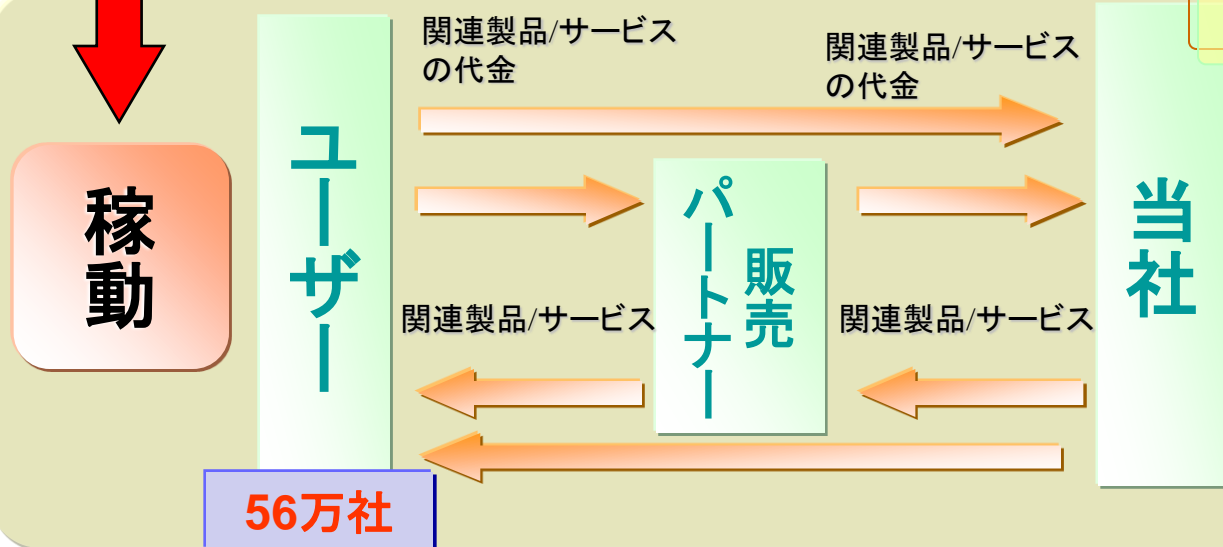
フロービジネス



- ソリューション
- ・奉行V ERP
- ・奉行iシリーズ
- ・奉行Jシリーズ
- ・OFFICEBANKシリーズ



ストックビジネス



- 関連製品
- ・サプライ品(専用帳票類)
- ・奉行シリーズ連動他社製品
- ・都銀向けEBの受託開発
- サービス
- ・保守契約料(OMSS)
- ・業務サービス(OMSS+)
- ・スクール/セミナー/訪問指導
- ・都銀向けEBの月額使用料

OBCのパッケージソフト(業務別)

財務会計

■勘定奉行

■償却奉行

■勘定奉行【建設業編】

■勘定奉行【個別原価管理編】

■申告奉行【法人税・地方税編】

■申告奉行【内訳書・概況書編】

人事労務

■人事奉行

■就業奉行

■給与奉行

■法定調書奉行

販売仕入

■商奉行

■蔵奉行

エレクトロニックバンキングシステム

■OFFICE BANK

■OFFICE BANK (資金集中・配分システム)

OBCのパッケージソフト(奉行i モデル別)

製品	内容	販売数量 (17/3期)	定価
新ERP	<ul style="list-style-type: none"> ● 奉行シリーズの機能をさらに拡張するためのパッケージ 	349本	124～510万円 (3～20クライアント)
NetworkEdition	<ul style="list-style-type: none"> ● データベースサーバーとクライアントPCをネットワーク接続して使用可能 ● 支店・事業所内で複数のオペレータが使用出来るだけでなく、WAN接続(専用線、ダイヤルアップ、VPN等)する事により、複数の支店、事業所で使用し、データを一元管理する事ができるネットワーク対応モデル 	4,455本	88～410万円 (3～20クライアント)
スタンドアロン	<ul style="list-style-type: none"> ● 1台のPCにて使用するスタンダードモデル ● 小規模の企業や、特定の担当者、部門内でのみ利用する業務に対応 	19,908本	20～68万円
Jシリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● 小規模法人企業向け 	846本	8万円
EB (エレクトロニック・バンキング)	<ul style="list-style-type: none"> ● 都銀や地銀のユーザーである大企業や中堅企業の事業所における銀行取引業務管理システム 		

OBCのパッケージソフト(奉行V ERP モデル別)

Advanced Edition

価格(税抜き) ¥2,050,000~

Advanced Editionとは、既存システムとの堅密な連携に対応できる奉行V ERPシリーズのハイグレードモデル。必要な部分からの段階的な開発や連携も考慮しており、企業の導入フェーズに柔軟に対応。

Standard Edition

価格(税抜き) ¥1,600,000~

Standard Editionとは、社内のネットワーク環境やブローバンドを利用し複数台のPCで、伝票の入力や管理資料の印刷が可能。業務の負荷分散やデータの一元化が図れるベーシックなモデル。

Single Edition

価格(税抜き) ¥640,000~

Single Editionは1台のコンピュータで運用することを目的としている。業務システムの運用が単体でのお客様、企業規模に合わせて導入やパイロット運用など将来の拡張を想定して、効率の良い投資を行ないたいお客様、様々なお客様に対応可能。

<参考>「勘定奉行VERP」の価格です。Standard Edition、Advanced Edition は、5ライセンスの参考価格です。

V ERP, 新ERPの特徴

【V ERP】

自社の業務プロセスに合わせた
開発が可能

1. 低コストの実現

- 費用対効果の高いシステム導入が可能
- 業種別に用意されているソリューション製品群
- オプション製品によるコスト削減
(ミニマム化)

2. 短納期でのシステム構築が可能

- 完成したパッケージをベースにした開発による納期の短縮
- オプション製品との組み合わせによる短納期を実現

3. 既存システムとの融合

- 必要としている部分に新たなシステムを追加導入・改善を行い、既存システム(他社のシステム)と融合をすることにより、最小限の投資で新たなシステムの構築が可能

【新ERP】

段階的なシステム導入が可能

1. システムアップによる導入

- スタンドアロン→LANPACK→新ERP

2. 業務単位での導入可能とする3つのデータベース

- 人: 人事・給与・就業管理
- 物: 販売・仕入・在庫・顧客管理
- 金: 財務会計・固定資産・債権債務・法人税

3. 奉行連動ソリューションとの連携

- 業務単位に多彩な奉行連動ソリューションが用意されており、柔軟なシステム拡張が可能
- 奉行連動ソリューションはシステム開発パートナーが連動製品を提供

オプション製品【奉行オプション】の特徴

オプション製品【奉行オプション】

- ◆ 業務に特化した奉行i10に対応したオプション製品「奉行オプション」を多数用意
- ◆ 奉行i10と組み合わせてご導入頂くことで、お客様の業務・業種に合わせたシステムの構築が可能

5つの特徴

特徴1 奉行i10シリーズと高い互換性があるためデータは直接連動

特徴2 カスタマイズが不要なため、すぐに運用が可能

特徴3 パッケージ化により、短納期を実現

特徴4 メンテナンスや税制改正等への対応も万全にサポート

特徴5 導入フォローの訪問指導サービスも充実

オプション製品の一覧

製品	対応製品
<ul style="list-style-type: none"> ■入金管理オプション ■支払管理オプション ■管理会計オプション ■外貨入力オプション ■電債・受取手形管理オプション 	<ul style="list-style-type: none"> ■勘定奉行i10 ■勘定奉行i10【個別原価管理編】 ■勘定奉行i10【建設業編】 ■勘定奉行i10【建設業編】
<ul style="list-style-type: none"> ■給与明細配信オプション 	<ul style="list-style-type: none"> ■給与奉行i10
<ul style="list-style-type: none"> ■賃金改定オプション 	<ul style="list-style-type: none"> ■人事奉行i10
<ul style="list-style-type: none"> ■勤怠打刻Webオプション ■勤怠管理Webオプション 	<ul style="list-style-type: none"> ■就業奉行i10
<ul style="list-style-type: none"> ■個別案件管理オプション ■受発注同時入力オプション ■売上仕入同時入力オプション ■入金消込オプション ■支払消込オプション 	<ul style="list-style-type: none"> ■商奉行i10 ■蔵奉行i10

【OMSS+業務サービス】の特徴

【OMSS+業務サービス】

- ◆ 「OMSS+業務サービス」とは、基幹業務システムでは対応しきれない様々な業務に対し、スピーディーにかつ優れたコストパフォーマンスで利用できる当社のサービス群
- ◆ 関連する奉行製品とのスムーズに連携・同期が可能
- ◆ 企業全体の業務対応力を向上させるツールとして活用可能

3つの特徴

特徴1 幅広い業務をカバーし、企業全体の生産性を向上
⇒業務網羅性を高める

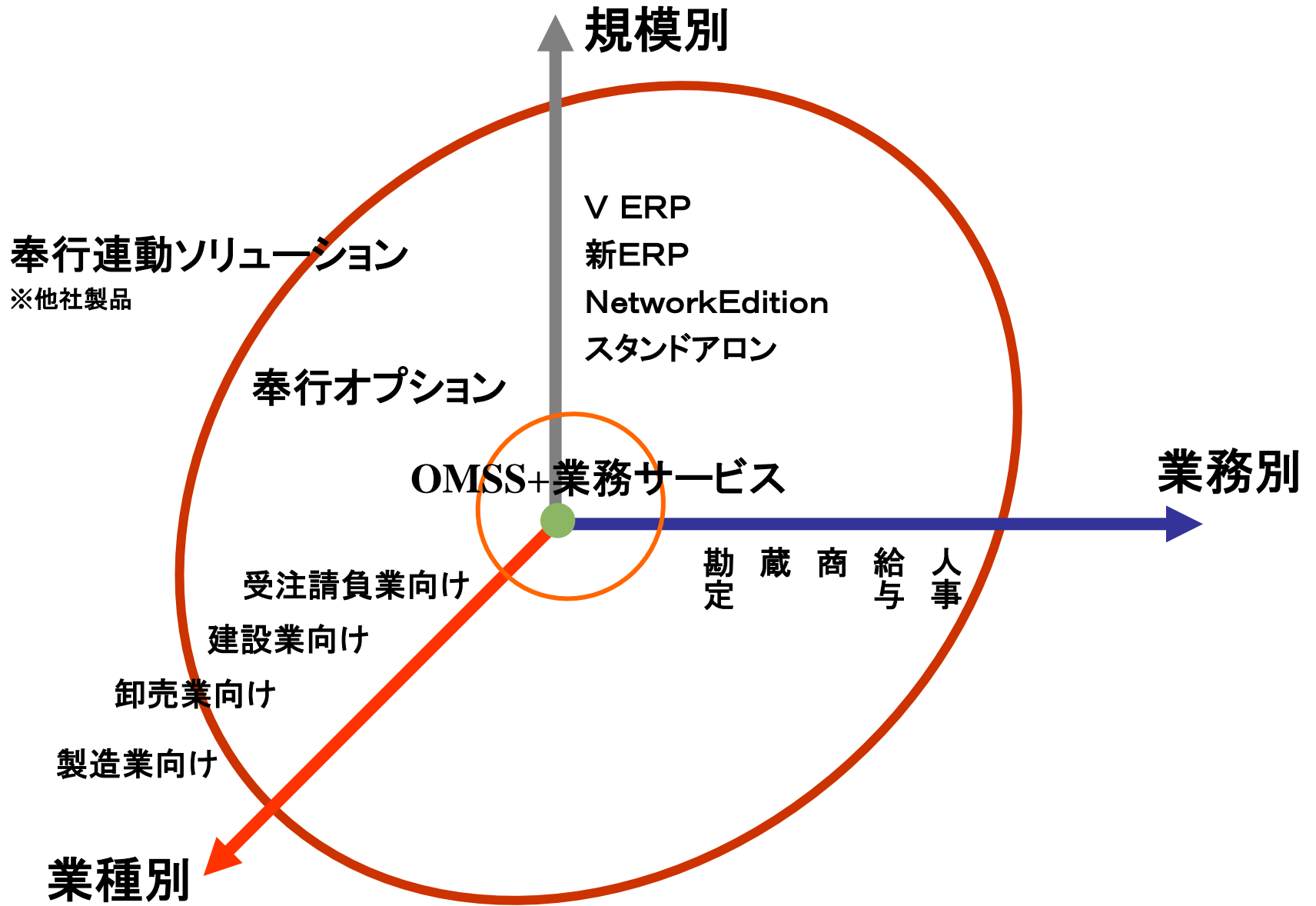
特徴2 業務対応のためにパッケージを改修するコストが不要
⇒必要な時に必要なサービスのみを選択して導入できるため、高いコストパフォーマンスを提供可能

特徴3 制度改正等の変化に対し、提供するスピードが速い業務サービスであればすぐに対応できる
⇒基幹業務と企業業務の対応を同時に行うことが可能

【OMSS+業務サービス】の一例

■「OMSS+マイナンバー収集・保管サービス」	【マイナンバー制度対応】 マイナンバー対応の業務プロセスを効率かつ安全に行うことが可能
■「OMSS+ストレスチェックサービス」	【ストレスチェック義務化対応】 初めてのストレスチェック制度にオールインワンサービスで対応
■「OMSS+勤怠管理サービス」	【改正労働基準法対応】 スマートフォンやパソコンで従業員が勤怠に係る打刻・申請・承認が行え、勤怠管理業務をサポートすることで労務リスクを最小化
■「OMSS+人材育成サービス」 「OMSS+目標管理サービス」	【人材育成支援対応】 社員育成と組織力向上を実現 育成方針に基づく目標管理、人事考課をスムーズに運用できる環境を提供
■「OMSS+海外法人コネクトサービス」	【海外法人向け会計連携対応】 海外進出している企業の現地会計を「見える化」
■「OMSS+Sales Scope」	【営業見込管理業務対応】 非効率になりやすい営業の見込み管理を解決

製品戦略の位置づけ



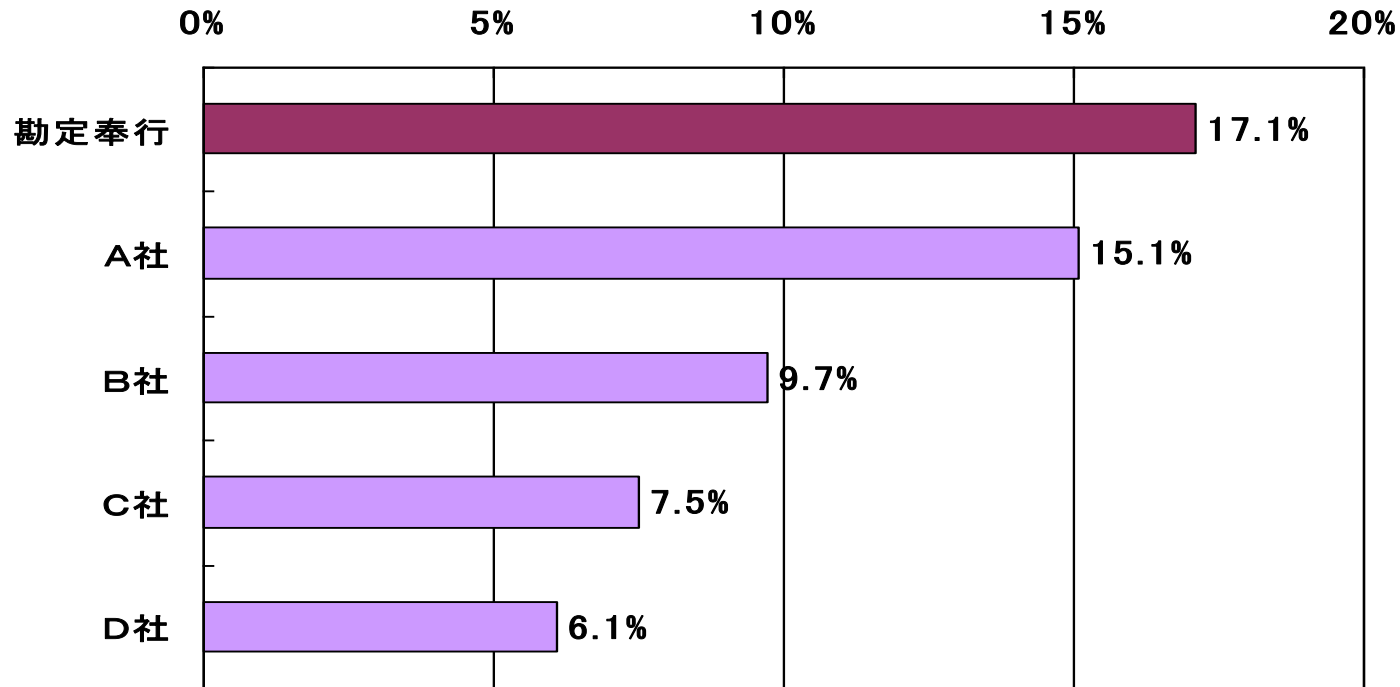
市場における地位①



財務会計システムの導入シェア(2017年)

- 調査実施時期:2017年7月~8月
- 対象:年商500億円未満の中堅・中小企業

【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2017年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

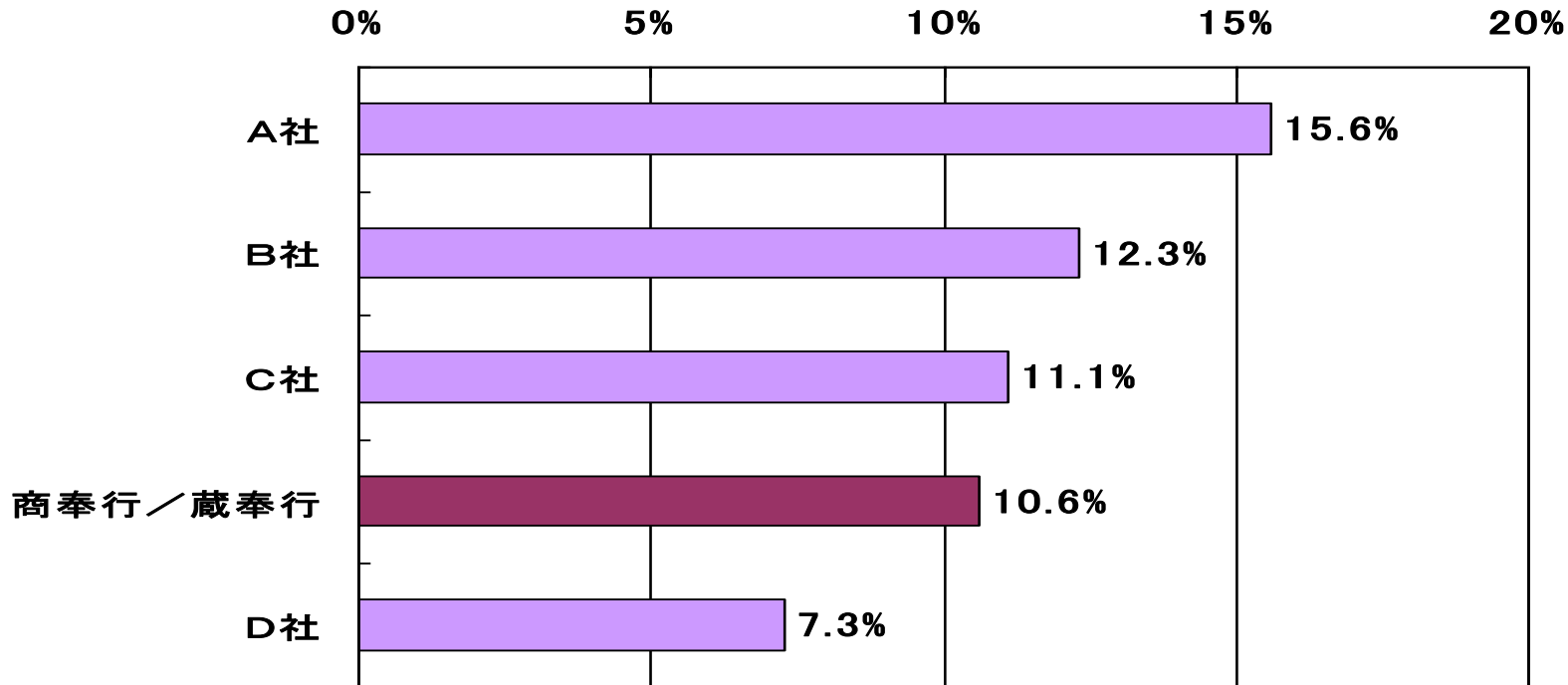
市場における地位②



販売・仕入管理システムの導入シェア(2017年)

- 調査実施時期:2017年7月~8月
- 対象:年商500億円未満の中堅・中小企業

【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2017年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

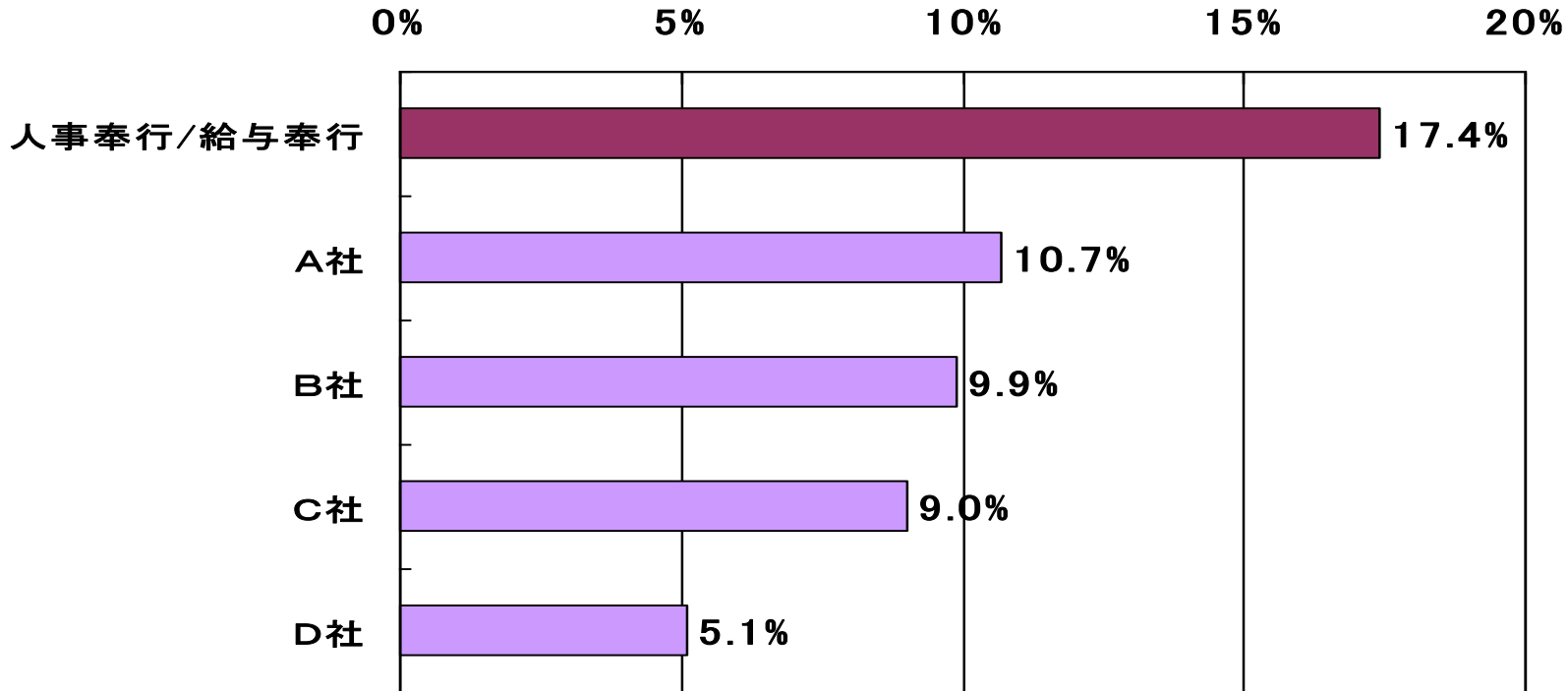
市場における地位③



人事・給与システムの導入シェア(2017年)

- 調査実施時期:2017年7月~8月
- 対象:年商500億円未満の中堅・中小企業

【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2017年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

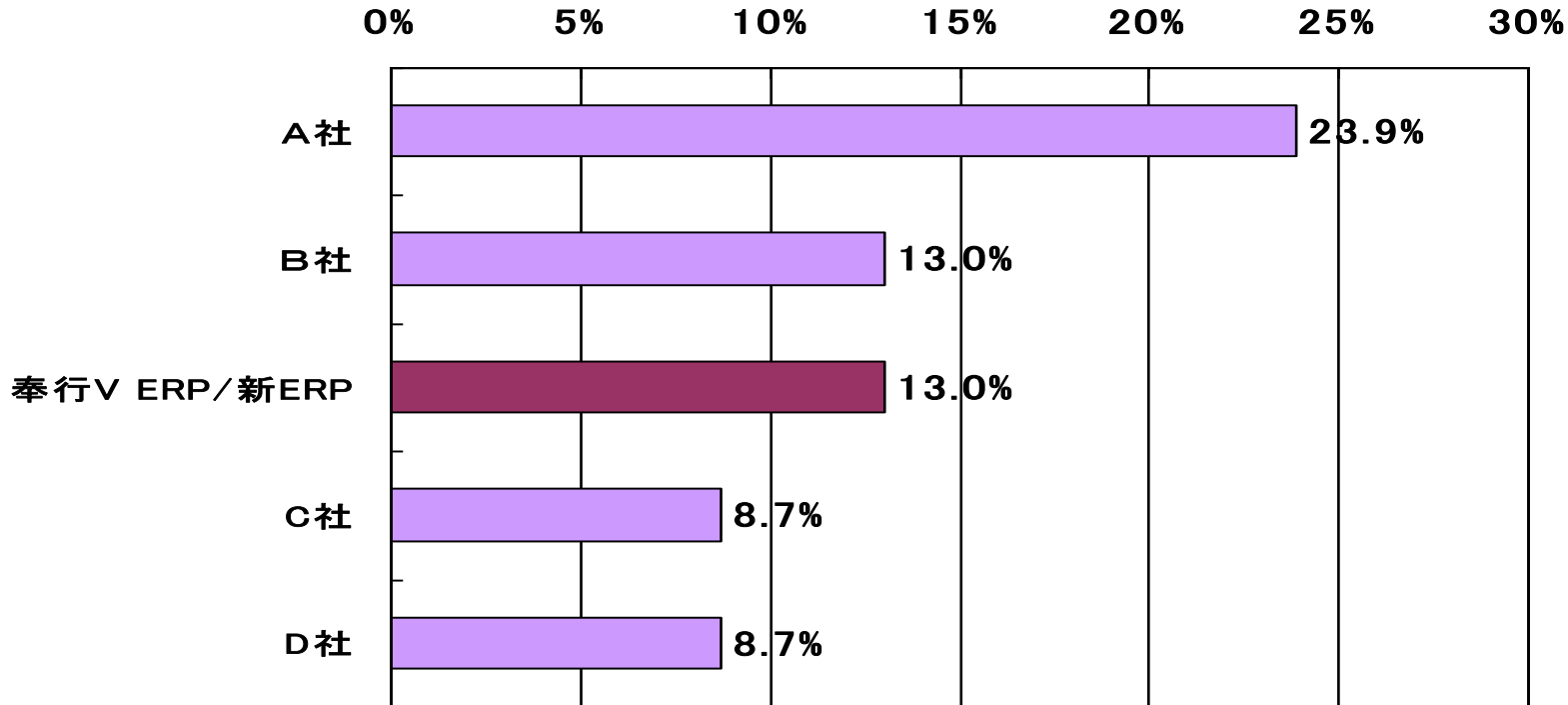
市場における地位④



ERPパッケージの導入シェア(2017年)

- 調査実施時期:2017年7月~8月
- 対象:年商50億円以上~100億円未満の中堅・中小企業

【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2017年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より



www.obc.co.jp

～ IR活動における個人情報取り扱い側窓口 ～

株式会社オービックビジネスコンサルタント 管理本部 高橋 電話 03-3342-1881

皆さまからお預かりする個人情報は、当社のIR活動の向上を目的として収集しています。従って、この目的以外にご記入いただいた内容や皆さまに関する情報を第三者に開示することはありません。

説明会の出欠管理に関しては野村IRに委託しており、委託にあたっては同社の個人情報保護方針について確認しております。